
■■■ 福祉社会学会ニューズレター 第78号 ■■■

Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.78

<http://jws-assoc.jp/>

E-mail: maf-ws@mynavi.jp

***** INDEX *****

- 第23回大会の自由報告の申し込みと予稿原稿の提出について
- 第23回大会テーマセッションの申し込みと予稿原稿の提出について(4月30日締め切り)
- 第23回大会テーマセッションについてのお知らせ
- 第23回大会シンポジウムについてのお知らせ
- 第23回大会の情報サポートと障害による配慮について
- 第23回大会の託児サービスについて
- 第23回大会の大会参加費と支払方法について
- 現在、非会員で大会報告申し込みをお考えの方に
- 福祉社会学会・第23回大会の抄録集のホームページ掲載について
- 大学院生に対する学会大会発表支援について

第23回大会の自由報告の申し込みと予稿原稿の提出について

福祉社会学会第23回大会は2025年6月28日(土)・29日(日)に、関西学院大学(西宮上ヶ原キャンパス)にて開催されます。大会での自由報告の申し込みについてお知らせします。

自由報告の報告時間は1人30分を持ち時間とし、20分発表、10分討論を標準としますが、申込み数によって調整をお願いすることもあります。

自由報告を希望される方は、電子メールで、以下の報告申込書と予稿集原稿のファイルの両方を添付して、2025年4月30日(水)までに以下のアドレスまでお申し込みください。

jwsaresearch2023-24★googlegroups.com (←★を@に変えてください)

報告申込書：下記のURLにて申込要領をご確認のうえ、申込書のWordファイルをダウンロードして、必要事項をご記入の上、ファイルにて提出してください。

予稿集原稿：下記のURLにて「予稿イメージ図」をダウンロードの上、所定の書式にしたがってWordファイルにて作成してください。A4版×2枚の分量です。申込書とともにファイルにて提出してください。

https://drive.google.com/drive/folders/1mPHW-VUU2Y2a6TKcVR6OqLEsvDZLbsZM?usp=drive_link

* 第 23 回大会テーマセッションの申し込みと予稿原稿の提出について(4 月 30 日締め切り)

今回は公募型テーマセッション、拡大セッションの申し込みはありませんでした。報告者を公募しない、会員による自主企画セッションについては、上記の自由報告の Word ファイルにて、テーマと部会趣旨（予稿集にそのまま掲載されます）、各報告の報告申込書と予稿集原稿を 2025 年 4 月 30 日（水）までに提出してください。

第 23 回大会シンポジウムについてのお知らせ

第 23 回大会のシンポジウムは、以下の内容で開催いたします。

○テーマ

「地域を生きる／地域と生きる——排除を前にして何ができるか——」

○趣旨

「地域共生社会」が謳われるようになって久しいが、複雑化・複合化する問題群を前に、多くの課題が残されている。そもそも、地域の中で排除されがちな人たちにとって、あるいはその人たちの支援者たちにとって、「地域」とは何なのか。排除を前にして目指されているのは、「包摂」なのか、それとは少し異なる道なのか。「地域の中で生きる」ことは、地域の主流的コミュニティとかかわりながら生きることでなくてはならないのか、それ以外にも道はあるのか。

本シンポジウムでは、複合的な障害を抱える人たちや自傷・他害のある人たち、あるいは地域社会から忌避されがちな人たちなどの支援現場で思索を続ける研究者たちにご登壇いただき、「地域を生きる／地域と生きる」という内実の多様性・豊かさについて、フロアとともに考えていきたい。

○登壇者（敬称略）

司会： 御旅屋達（立命館大学）・安藤藍（千葉大学）

報告者：

（以下、タイトルは仮題）

1. 「併存性障害を有する人の『老い衰える』を支えることをめぐる社会関係——ある障害者支援事業所でのフィールドワークを通じた考察」

相良翔（埼玉県立大学）

2. 「『ケアの倫理』は何を包摂しないのか？

—他害・触法の障害支援から経験的・批判的に再考する」

樋口拓朗（東京大学大学院）

3. 「つながりの中で生きる——『抱樸館北九州』での支援を事例として」

稲月正（北九州市立大学）

4. 「認知症者の生きる場所を考える——「包摂」とはなにか？」

討論者：三井さよ（法政大学）

第23回大会の情報サポートと障害による配慮について

第23回大会への参加を予定されている方で、情報保障やなんらかの配慮をご希望の方は研究委員会（jwsaresearch2023-24★googlegroups.com ←★を@に変えてください）までお早めにご相談ください。

レジュメについては、例年通りすべてクラウドにアップする予定ですので、読み上げ機能をご利用いただけます。なお、利用は大会参加申し込み者のみに限らせていただきます。

第23回大会の託児サービスについて

第23回大会への参加を予定されている方で、託児サービスを希望の方は、5月23日（金）までに研究委員会（jwsaresearch2023-24★googlegroups.com ←★を@に変えてください）までご連絡ください。学会からお1人に付き上限1万円まで補助する予定です。依頼する業者「SOU キッズケア株式会社」は利用者2人以上で派遣が可能になるとのこと、ご了承いただければ幸いです。

第23回大会の大会参加費と支払方法について

第23回大会では大会参加費を徴収します。参加申し込み期間は、2025年4月18日（金）から6月18日（水）までとします。

第23回大会から新たな試みとして、フォームでの参加登録と参加費の支払い（クレジットカード払い）を一度に行えるようにする予定です。フォームについては改めてご連絡差し上げますので、メールやホームページをご確認ください。

なお、クレジットカードでの支払いが難しい方は、5月末日までに研究委員会（jwsaresearch2023-24★googlegroups.com ←★を@に変えてください）までご連絡ください。大会当日の受付での参加費のお支払いには対応しかねますので、なにとぞご協力をお願いいたします。

1 大会参加費について

大会参加費は以下の通りです。

【大会参加費】

（一般・会員）4,000円、（学生・会員）無料

（一般・非会員）4,000円、（学生・非会員）2000円

2 懇親会について

第23回大会では、会場の都合により、会場での公式な懇親会は開催しません。

※代わりに、どなたでも参加が可能な懇親会を1日日夜に開催する予定です（定員50名程度）。場所は、甲東園駅最寄りの「鳥居 甲東園店」となります。詳細については学会MLで5月に告知をいたします。

3 お弁当について

今大会では、お弁当の手配は行いません。ご自身でご用意をお願いします。

4 適格請求書対応について

福祉社会学会は免税事業者のため、インボイス登録を行っておりません。また、学会年会費・学会大会参加費については、学会が自己の通常活動の一環として行う事業の費用を、参加者である会員に負担いただいているものであり、対価性はないものと見なしうることから、消費税については課税対象外（不課税）としております。非会員の方が当学会の年次大会に参加する場合にお支払いいただく大会参加費は、消費税の課税対象となります。ご不明な点がございましたら、学会事務局までお問い合わせください。

ご不明な点は、研究委員会（jwsaresearch2023-24★googlegroups.com ←★を@に変えて下さい）までお問い合わせ下さい。

現在、非会員で大会報告申し込みをお考えの方に

次回の本学会への入会承認は6月の大会時に開催予定の理事会となりますが、現在非会員で大会報告申込をお考えの方も、以下の手順によってご報告（自由報告、テーマセッション報告）いただくことが可能です（共同報告で現在非会員の方が含まれる場合も同様です）。

- (1) 報告は会員であることが条件となりますので、大会報告申込切と同じく2025年4月30日（水）必着で福祉社会学会事務局（〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3-1 東京大学大学院人文社会系研究科社会学研究室 米澤旦）あてに入会申込書をご郵送下さい。その際、「大会報告申込希望」であることを明記して下さい。
- (2) 同時に、大会報告の申し込みもお願いいたします。申込要領に従って、報告申込書と予稿集原稿を作成し、2025年4月30日（水）までに研究委員会あてにメールでご連絡ください。その際、「事務局に入会申込書送付済」と明記してください。
- (3) 庶務理事と理事会幹事会で入会申込書を確認したうえで、仮入会の形とさせていただきます。この時点で追加の確認が必要になった場合は、庶務理事より連絡させていただきます。

なお、報告はおこなわないが会員として大会参加を希望する場合は、大会開催の1週間前程度に入会の手続き

をしてください。また、9月に〆切予定の学会誌『福祉社会学研究』への投稿には、6月大会時の理事会での入会承認が必要となりますので、現在非会員で投稿を御希望の方はお間違いのないようお願いいたします。

福祉社会学会・第23回大会の予稿集のホームページ掲載について

第23回大会では、予稿集をホームページにて掲載いたします。テーマセッションと自由報告にご応募なされる場合は、予稿集がホームページにアップされることをご了解いただきますようお願いいたします。冊子は、配布いたしません。

大学院生に対する学会大会発表支援について

学会大会で報告、参加する大学院生の支援を目的として、大学院生（会員）の大会参加費を無料とします。大学院生の皆様におかれましては、積極的に大会での報告や参加についてご検討いただければと存じます。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局